

昭和35年色染率—35会

2017年9月27日、8名の同窓生が集まり、京都岡崎の無鄰菴、神宮道三条の青蓮院を拝観、その後、木屋通御池上ルの料亭、新三浦にて夕食を楽しみました。

S35年卒は総勢32名、物故者11名、何らかの身体の不具合のあるもの5～6名、遠方に住んでいる等の理由で出席辞退7～8名といった現状です。

当日は小雨が時々降ったりする天気でしたが、それだけに拝観者は少なく静かな庭園を散策することができました。無鄰菴は昨今頓に高名な七代目小川治兵衛（通称、植治）の明治期の作庭による池泉廻遊式庭園で、東山を借景とし、広々とした明るい芝生に琵琶湖疏水を引き込み浅い流れを配した近代日本庭園。一方青蓮院は相阿弥作と伝える龍心池を中心とする室町時代以来の築山泉水庭と小堀遠州作と伝える江戸時代の池泉回遊式庭園、霧島の庭がつながっており、また境内の梵鐘は自由につくことができ、美しい余韻に心洗われました。



無鄰菴庭園にて、衛藤、法貴、園田、林、鈴江

老舗料亭の新三浦では情緒ある鴨川河畔の川床での夕食を予定していたのですが、小雨にて鴨川を見下ろす二階座敷での食事となりました。それなりに眺めもよく、座敷を独占して賑やかに談笑することができました。ゴルフ談議—山田君の84歳にしての「エージシュート」、カラオケ談議—法貴君は健康維持のためにもスタジオまでの数千歩のウォーキングと歌唱を日課、等々話に花が咲きました。往年の酒豪連中もよる歳波でほどほどの量にて、まずは行儀のよい楽しい集会となりました。



新三浦にて、前列：鈴江、園田、松岡、山田、法貴、後列：坂東、衛藤、林

(色染昭35・松岡謙一郎)